

# 平成23年7月新潟・福島豪雨災害の記録

## 国道252号越川側道橋災害復旧工事の概要について



会津若松建設事務所  
道路課 主査 小嶋 実

施工場所:大沼郡金山町大字越川地内(越川側道橋)

### 1. 被災概要

- 平成23年7月に発生した『新潟・福島豪雨』により、金山町越川地区の国道252号越川側道橋(鋼床版箱桁橋)が約6km下流の本名ダム付近まで流出した。
- これによって越川橋の歩道が無くなり、歩行者の安全を確保するため、越川側道橋の災害復旧工事を実施することとなった。

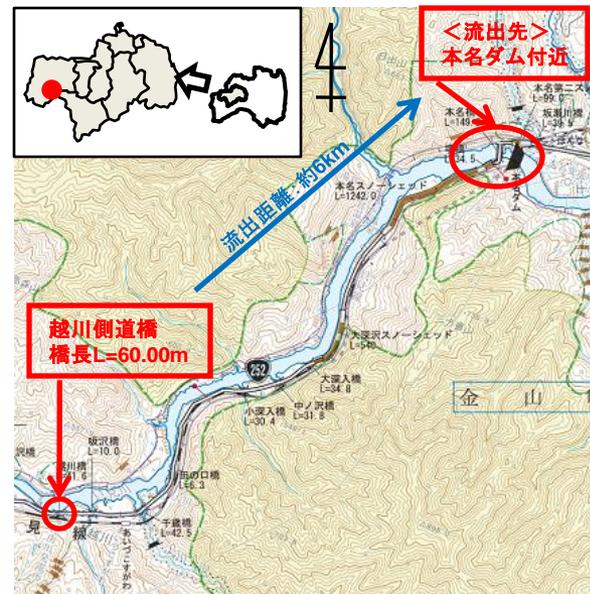
<被災直後>



<流出先>  
本名(発)ダムゲート



【現場位置図】



仮組立状況(工場内)



### 2. 復旧工事概要

【橋梁復旧費】83百万円

【工期】平成24年3月～平成24年12月

【橋梁概要】

橋梁形式 : 単純鋼床版箱桁橋

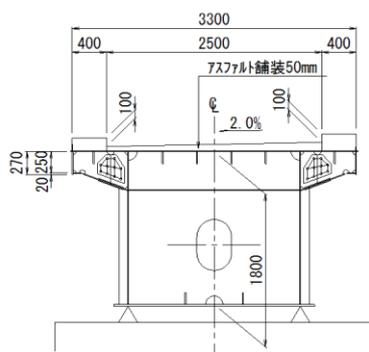
橋長 : 60.000m

支間長 : 59.000m

有効幅員 : 2.500m

全幅員 : 3.300m

断面図



### 3. 内容・課題

#### <内容>

鋼橋上部工(製作, 架設, 舗装)一式

工場製作工: 製作鋼重(約70ton)

鋼橋架設工: 200tonクレーン相吊り架設  
(縦取り設備使用)

舗装工: A s 舗装(厚さ50mm~100mm)

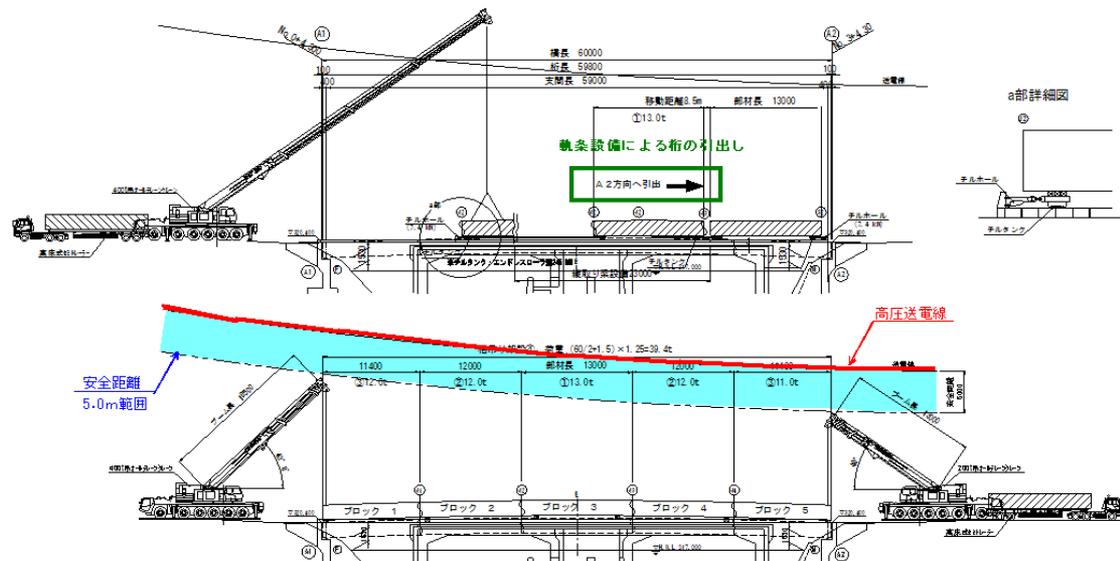
鋼橋付属物: 一式

#### <課題・対策>

当該橋梁の上部には、東北電力の高圧線(約15万ボルト)が設置されており、クレーン架設時の安全確保が課題となった。

架設計画図より、高圧線からの安全距離を確保できるか確認し、また、東北電力にも架設作業を実施する予定を報告した上で架設作業を進めた。

#### 架設計画図



### 4. 創意工夫

- ・若手技術者の育成にも役立たせるため、仮組立検査および鋼桁架設時に現地を視察しながらの勉強会を実施した。
- ・鋼桁の地組立時は、車道を片側規制した状況であったが、施工業者の工夫により、24時間体制で交通誘導員を配置しながら、地組立期間中の安全を確保した。
- ・架設時においては、鋼桁の吊り上げ時(5分程度)の一時通行止めとした。

仮組立検査状況



鋼桁架設状況



### 5. おわりに

- ・高圧線に近接する架設作業であったが、事故もなく工事を完了することができた。  
また、今後も若手技術者の育成に力を入れていきたい。